



様式第2号

令和元年 11月21日

坂戸市議会議長 様

会派名 さかど新政会

代表者名 飯田 恵



実施報告書

下記のとおり、調査研究等を実施したので報告します。

記

1 期 日 令和元年10月23日(水) 午後1時30分～3時30分

2 参加者氏名

飯田 恵	猪俣直行		

3 調査研究等の行き先及び内容

行き先	内 容
坂戸市役所 全員協議会室	坂戸市議会議員研修会 「2019・2020のレガシーと本県スポーツの未 来」

4 概要

別添のとおり

坂戸市議会議員研修会報告書

- 1 日 時：令和元年10月23日（水）午後1時30分～3時30分
- 2 場 所：坂戸市役所全員協議会室
- 3 研修テーマ：「2019・2020のレガシーと本県スポーツの未来」
- 4 内容についての概要

前記テーマ内容について、埼玉県県民生活部スポーツ局 参与 久保正美先生をお招きし、概要説明を聴取した。

説明は次のとおりである。

まず久保先生ご自身が自己紹介をされた。

久保先生は、日本体育大学体育学部体育学科を卒業され、県立高校や県教育局での勤務を経て、平成21年4月から23年3月まで埼玉県立坂戸西高等学校の校長を歴任された。

坂戸西高等学校の話では、生徒同士のチームワークがとれた「日本一の体育祭」など「特色をいかした体力向上」などが評価され、全国学校体育研究大会において最優秀校に選ばれ「文部科学大臣賞」を受賞したことや、野球部では甲子園を目指したが惜しくも3位となり出場にはならなかったなど校長時代の話題を含め自己紹介をされた。

つぎに、2020年に東京オリンピック・パラリンピックを迎えるとともに2019年では、ラグビーワールドカップ2019が日本開催され埼玉県熊谷市が12会場の1つに選ばれ開催された。

久保先生は、このラグビーワールドカップの担当として熊谷ラグビー場の会場誘致から新たなスタジアム造り、スタジアムを造るため海外視察を参考にした場内の思いやりのこもった選手ルームや観客席についての細かな説明をされた。

そして、4年前のワールドカップ2015の五郎丸選手の活躍から、ラグビーファンが増え始め認知度が上り、テレビドラマでも放映されマスコミやスポンサーがラグビー熱の上昇を後押しするなど、何が何でもラグビーワールドカップ2019埼玉会場の成功を心に誓ったと話された。

最後に、2020東京オリンピック・パラリンピックについて、県内ではオリンピック4競技、パラリンピック1競技が行われる。①バスケットボール（さいたまスーパーアリーナ）、②サッカー（埼玉スタジアム2002）、③ゴルフ（霞ヶ関カンツリー倶楽部）、④射撃（陸上自衛隊朝霞訓練場。オリンピックとパラリンピック）など埼玉県には世界に誇れる会場が4つもあり、1964年東京オリンピックを契機として開催都市に「よい遺産」レガシーなども残されたため、今回のオリンピック成功に努力したいと話された。

5 感想・所見

今回、東京オリンピック・パラリンピックが決まり一生に2度母国でオリンピック感が味わえることは幸せである。

久保先生のお話を聞き、ワールドカップやオリンピックに懸ける選手や関係者、ボランティアスタッフ、会場を造る方々の多くに改めて世界の祭典に驚かされた。

1964年に造られた国立競技場は、55年間レガシーとして残り、今回新たに建設される新国立競技場はこれからの後世に残される新たなレガシーとなると認識した。

しかしながら、建造物は建替え解体してしまえば遺産としての価値は無くなってしまいが、私が思う本当のオリンピックレガシーとは、1964年東京オリンピック後の戦後復興から高度経済成長へと日本の文化や歴史が大きく変わり、現在の平和で豊かな日本があることであると考えている。